第7学年　数学科

	単　元	観　　点	評　価　項　目	時数
1学期	1　正の数と負の数	知識・理解	①正の数と負の数の必要性と意味を理解している。 ②正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ③具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 ④自然数を素数の積として表すことができる。	26
		思考・判断・表現	①算数で学習した数の四則計算と関連付けて，正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 ②正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。	
		主体的に学習に取り組む態度	①正の数と負の数のよさについて考えようとしている。 ②正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	2　文字と式	知識・理解	①文字を用いることの必要性と意味を理解している。 ②文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知っている。 ③簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。 ④数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ⑤数量の関係や法則などを式を用いて表したり読み取ったりすることができる。	21
		思考・判断・表現	①具体的な場面と関連付けて，1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。	
		主体的に学習に取り組む態度	①文字を用いることのよさについて考えようとしている。 ②文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		知識・理解	①方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 ②等式の性質と移項の意味を理解している。 ③簡単な1元1次方程式を解くことができる。 ④事象の中の数量やその関係に着目し，1元1次方程式をつくることができる。 ⑤簡単な比例式を解くことができる。	

	3　方程式	思考・判断・表現	①等式の性質を基にして，1元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ②1元1次方程式や比例式を具体的な場面で活用することができる。	17
		主体的に学習に取り組む態度	①1元1次方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を考えようとしている。 ②1元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③1元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
2学期	4　比例と反比例	知識・理解	①関数関係の意味を理解している。 ②比例，反比例について理解している。 ③座標の意味を理解している。 ④比例，反比例を表，式，グラフなどに表すことができる。	24
		思考・判断・表現	①比例，反比例として捉えられる2つの数量について，表，式，グラフなどを用いて調べ，それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ②比例，反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	
		主体的に学習に取り組む態度	①比例，反比例について考えようとしている。 ②比例，反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③比例，反比例を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	
	5　平面図形	知識・理解	①平面図形についての基本的な概念や用語の意味を理解している。 ②記号を使って図形や図形の関係を表したり，読み取ったりすることができる。 ③平行移動，対称移動及び回転移動について理解している。 ④角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ⑤おうぎ形の弧の長さ，面積，中心角を求めることができる。	20
		思考・判断・表現	①図形の移動に着目し，2つの図形の関係について考察し表現することができる。 ②図形の性質に着目し，基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ③基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 ④おうぎ形の弧の長さと面積の求め方を考察し表現することができる。	

		主体的に学習に取り組む態度	①平面図形の性質や関係を捉えることのよさについて考えようとしている。 ②平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③図形の移動や作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
3学期	6 空間図形	知識・理解	①空間図形についての基本的な概念や用語の意味を理解している。 ②空間における直線や平面の位置関係を知っている。 ③基本的な柱体や錐体，球の表面積と体積を求めることができる。	20
		思考・判断・表現	①空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり，空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 ②立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	
		主体的に学習に取り組む態度	①空間図形の性質や関係を捉えることのよさについて考えようとしている。 ②空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	7 データの活用	知識・理解	①ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解している。 ②コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理したり，データの範囲や代表値，相対度数，累積度数，累積相対度数などを求めたりすることができる。 ③多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。	15
		思考・判断・表現	①目的に応じてデータを収集して分析し，そのデータの分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。 ②多数の観察や多数回の試行の結果を基にして，不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	
		主体的に学習に取り組む態度	①ヒストグラムや相対度数，多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などのよさについて考えようとしている。 ②データの分布や不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③ヒストグラムや相対度数，多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり，多面的に捉え考えようとしたりしている。	